



有限会社落合ハーブ園 代表取締役

落合 正浩

(おちあい まさひろ)

## 耕作放棄地の活性化をめざして

### ハーブ栽培のきっかけ

現在、落合ハーブ園では、「人のからだに良いはずのハーブに農業などは使わない。」という信念のもと、平成8年から完全無農薬栽培を貫き、多くの皆様にご提供させていただいております。しかし、私がハーブを作り始めたのは今から25年前の昭和62年で、当時はハーブの作り方の専門書などほとんどなく、一般向けの園芸雑誌や効能が書いてある書籍があるぐらいでした。情報が豊富な現在のように、どの本を買えばよいのかと選べる状況ではありませんでした。

既存の野菜だけを作っていたら、農業はだんだん廃れていくと確信した私は転作するの何の抵抗もありませんでした。しかしながら、全くの未知の世界であったため一年間は試行錯誤の連続でした。

現にまわりの農家は、市場に出しても値段が安定していない、ガソリン代にもならない、そんなこんなで農業を辞める人も多く、それを見て育った子供たちもサラリーマンになったり、起業したりで気が付いたらあちこちに耕作放棄地が増え、国道からハーブ園にくる道路沿いの土地も例外ではありませんでした。

私のハーブ園は国道から少し奥まっているので、せめて道路沿いにきれいなハーブの花

# Herb na Works



が植わっていたら、皆さんに喜んでいただけるに違いないし、町興しにもなるだろうな。耕作放棄地にハーブを植えようと思ったのは、そんな単純な動機からでした。ハーブにはいろいろな利用の仕方があり、癒しの効果があります。一石二鳥ならず三鳥だ。私の頭の中は、いつしか耕作放棄地がハーブでいっぱいでした。

### 耕作放棄地活性化への取り組み

最初に手がけたのが、知り合いから借りた近くのハウス跡地500坪。障害を持つ従業員達と、毎日毎日小石やガレキを拾い、一ヶ月くらいで綺麗にし、ムラサキ科のポリジというハーブの苗を植えました。翌年の春に星型のブルーの花が咲く頃に、以前から親しくしていただいていたフレンチの鉄人として有名な坂井宏行氏を招いてミニイベントを開催しようと考えていました。坂井氏は、ご多忙にもかかわらず、障害者の為のイベントなら



開拓前の姿

と快諾していただけました。そのかいもあってか大盛況で終わることができました。たくさん協賛してくださった企業もあり、皆で力を合わせると実現できるという確かな手ごたえがありました。

次に取り組んだのが15年間使っていないなかた田んぼです。市街地にあるので草ぼうぼうではないけれど、土がなかなか細かくならない。その年はトラクターで3回こし、草取りと草刈で終わってしまいました。ここは600坪あるので、従業員もお弁当持参で一日草取りです。やはり畑と違い、雨が降ると水がなかなか抜けません。やっと定植できるまでに整備しました。これもやはり、ポリジを植えました。私なりにハーブを植えるのは理由があります。ハーブは香りで人の心を癒し、目で見ても癒し、ハーブティーで飲んで癒され、エッセンシャルオイルを採ることもできます。また食べることもでき、本当に神様からの贈り物だと思っています。ただ花を植えて終わりだと、私のめざす6次産業は成り立ちません。いつもない知恵を絞っているいろいろ考えています。今回は蜂蜜も採る予定です。

普段の仕事もやりながら、去年は屋久島に行き、今年には北海道に行き勉強させていただいています。また、今回の東日本大地震では、畑や田んぼが海水に浸かり、2次災害の原発事故で汚染された農地の問題があります。本当に農家にとっては、家よりも大事な農地なのに、他人事ではありません。さらに3次被害と言っても過言ではない風評被害があります。これでまた農業をやる人が減るのではないかと心配です。耕作放棄地を利用できればとも思いますが、耕作放棄地は早めの手を討たないと何倍もの労力が要ります。

農業の新規就農が話題になっていますが、畑として使えるようになるには、先ず整地して肥料を撒いて、種を蒔いたり、苗を植えたりして、収穫まで草管理、水管理、獣害対策、防虫対策、台風などの自然災害対策などをしなければならず、それまでは収入が無いことも。収穫して、販売して初めて収入になるのです。そのようなことから、安易に農業を始める人も多い反面、簡単に辞める人が多いのも事実です。そこで又耕作放棄地ができます。日本は狭い領土なのに、なんでこんなに遊休農地が多いのだろうと不思議です。知らない町に行っても目に付くのは耕作放棄地です。今、次の耕作放棄地にとりかかっていますが、ここは今までと違って規模が大きいののでちょっと大変です。しかも有機農業だからもっと大変ですけど、その分やりがいを感じます。

「来年の春ころにはきっと……」という希望を持って、皆で日々頑張っております。



耕作放棄地を開拓した後



落合ハーブ園 有機JASマーク取得  
〒411-0801 静岡県三島市谷田 2297-348  
TEL : 055-976-6061 FAX : 055-976-6063  
E-mail : info@ochiaierb.com  
HP : <http://www.ochiaierb.com/index.html>